



# 中学校の部活動について 新たな取組みを進めています



文部科学省は、昨年12月に策定した、「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」において、少子化の中でも将来にわたり、生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会の確保を目指し、新たな地域クラブ活動を整備するための必要な対応などについての考え方を提示しました。そして、まずは休日における地域の環境整備を推進することが示されました。

本県においても、生徒数の減少にともない、単独でチームを組めない学校が増えたり、専門的な指導ができる教員が不足したりするなど、生徒たちにとって望ましい活動が継続してできない状況が生じています。

こうした中、県と市町の教育委員会では、令和3年度から、休日の部活動を地域で支える取組み(部活動の地域移行)の実証事業を行っています。

今後、実証事業の成果も踏まえ、部活動の地域移行に向けた運営団体の整備や指導者の確保などの検討を行い、地域の実情に応じた、生徒のスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会の確保に取り組んでいきます。

スポーツ庁・文化庁  
「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」(令和4年12月)



## 部活動の地域移行に関する



Q 部活動の地域移行はなぜ行われるのですか？

A 「やりたい部活が学校にない」「音楽もスポーツもやりたい」「体を動かしたい」「趣味を楽しみたい」等、地域人材の力によって、そのようなニーズに応えることができるからです。

これまで、中学生のみなさんがスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会は、学校部活動で確保されてきましたが、少子化の進行や学校の働き方改革が進む中で部活動を学校単位で継続することが難しくなっています。

Q 地域移行はどのように進んでいきますか？  
今年度からすぐに地域に移行されるのですか？

A 地域の実情によりますが、指導者や運営する団体、活動場所等の準備ができた地域(学校)や種目から、段階的に進んでいくことが想定されます。

Q 地域クラブ等からでも大会に出場することはできますか？

A 現在、県中学校体育連盟主催の大会については、参加資格を見直し、地域クラブ等からの出場について検討しているところです。その他の大会については、大会主催者が作成する大会要項を参考にしてください。